

上美生小中学校における諸制度導入による児童生徒数変動見込み 令和8年5月1日現在

全児童生徒数(普通学級と特別支援学級の合計) ※R7.8は確定値、R9以降の新入学数はR8.4.1見込値

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
上美生小	7	1	1	2	3	0	2
1年	4	7	1	1	2	3	0
2年	(1)	5	4	7	1	2	3
3年	5	(1)	5	4	7	1	2
4年	4	5	(1)	5	4	7	1
5年	6	4	5	(1)	5	4	7
6年	(計)	31	(1)	26	(1)	23	(1)
計							
条件①							
小計(校区児童見込み)							
条件②							
条件③							
既存分控除							
計							

条件設定の考え方

- ①学校選択制の導入による減少
上美生小中学校保護者による意向投票の結果(存続26、統合30、白票1)を参考
52.63%の児童生徒が他校への異動により減少と仮定(30/57)
端数処理については小数点以下は四捨五入
- ②小規模特設校制度導入による増加
令和7年度に実施したアンケート調査における、上美生小中への通学希望を参考
上美生小、上美生中とも毎年2名と仮定
- ③山村留學制度継続による増加
直近5年間(R4~8)における山村留學生の推移を参考
上美生小では毎年1名受入と仮定(年度当初計6名/5年)
上美生中では毎年6名受入と仮定(年度当初計31名/5年)
端数処理については小数点以下は四捨五入
現在の留學生は中学校卒業まで継続と仮定し、上記試算の内数に算定
現状から平均を満たさない場合は段階的な増加を想定

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
上美生中	(4)	10	6	4	5	(1)	5	4	7	1	2	3	0
1年	(4)	10	(3)	9	6	4	5	(1)	5	4	7	1	2
2年	(1)	7	(3)	8	(3)	9	6	4	5	(1)	5	4	7
3年	(9)	27	(6)	23	(3)	19	15	(1)	14	(1)	14	(1)	16
計													
条件①													
小計(校区生徒見込み)													
条件②													
条件③													
既存分控除													
計													

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
特別支援学級在籍者(見込)													
再計													
普通学級在籍者平均													
複式学級可能性													